

事業報告

コロナ禍を経て人々の関係性の希薄化が進み、閉じこもり、孤独・孤立の問題、経済情勢や雇用環境の厳しさも未だ続く中、人と人とのつながりや助け合いを中心とした地域福祉の充実が益々必要とされています。

このような社会情勢のなか、生駒市社会福祉協議会では、生活困窮者自立相談支援、権利擁護支援センター、地域包括支援センター等の専門相談機関を通じて個々の相談者に寄り添った問題解決に向けた支援を行いました。

また、地域活動の再開へ向けた支援、困窮者への新たな支援等、従来と異なる状況から課題を捉え、地域住民をはじめ、行政や関係機関・団体とともに、地域課題や生活課題の解決に向け取組を進めてきました。

当社会福祉協議会の事業運営に当たりましては、地域の皆様や団体の温かいご理解により、多大なご支援ご協力をいただきましたことを感謝申し上げますとともに、ここに事業概要及び執行状況を報告いたします。

1 社会福祉協議会の基盤整備

(1) 組織体制・財政基盤の強化

ア 理事会・評議員会の運営

当協議会を円滑に運営するため、次のとおり開催した。

会議名	開催日	場 所	主 な 内 容
決算監査	5月12日	コミュニティセンター	・ 令和4年度社会福祉法人生駒市社会福祉協議会事業報告及び計算書類の監査
理 事 会	5月26日	コミュニティセンター	・ 令和4年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・ 生駒市社会福祉協議会の評議員の補充選任について ・ 評議員の選任・解任委員会委員の補充選任について ・ 令和5年度生駒市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
評 議 員 会	6月16日	コミュニティセンター	・ 生駒市社会福祉協議会の理事の補充選任について ・ 令和4年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について
理 事 会	6月23日	書面決議	・ 生駒市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について

理 事 会	3月21日	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について ・ 令和6年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について ・ 令和5年度生駒市社会福祉協議会第2回評議員会の招集について
評 議 員 会	3月29日	コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人生駒市社会福祉協議会定款の一部改正について ・ 生駒市社会福祉協議会理事の選任及び補充選任について ・ 令和5年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について ・ 令和6年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について

イ 共同募金事業への協力

(ア) 共同募金委員会の運営

市民に分かりやすく透明性があり、参加しやすい募金運動を展開するため共同募金委員会を開催した。

開催回数 3回

(イ) 共同募金運動の推進

10月から赤い羽根共同募金運動を行い、自治会、小・中学校、生駒商工会議所を始め、市民の皆様のご理解ご協力により多額の募金をいただいた。

また、10月1日に、民生・児童委員連合会、市内ボランティア団体等の協力を得て、生駒駅前街頭募金活動を実施した。

(単位:円)

募金方法	令和5年度	令和4年度
戸別募金	5,491,414	5,705,120
街頭募金	52,263	124,113
職域募金	230,767	283,456
法人(企業)募金	625,000	654,000
学校募金	144,552	116,103
その他	444,898	316,817
合計	6,988,894	7,199,609

(ウ) 歳末たすけあい運動の実施

民生・児童委員連合会、自治会、共同募金委員会、当協議会等が一体となって「歳末たすけあい募金運動」を行い、市民の皆様の温かい善意と関係者の熱心な協力に

よって多額の募金をいただいた。この募金は、年末に支援を必要とする人たちへの援助や事業等、地域の福祉活動に活用した。

(単位:円)

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
募金実績額	3,598,755	3,904,224

(2) 福祉情報の提供及び広報活動の強化

ア 広報誌の発行

「社協だより・いこま」を発行して市内全戸に配布し、当協議会の事業の報告や情報提供に努めた。

- ・第124号(令和 5年 4月 1日)
- ・第125号(令和 5年 7月 1日)
- ・第126号(令和 5年10月 1日)
- ・第127号(令和 6年 1月 5日)

イ ホームページの充実

ホームページにより、当協議会に関する情報を、迅速に分かりやすく提供した。

2 地域福祉活動の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域社会の実現のため、市民の参加を得て、様々な福祉ニーズの相談に応じるとともに、きめ細かな福祉サービスを組織的かつ総合的に推進した。

(1) 福祉総合相談体制の充実

ア 総合相談窓口の設置

相談を通じて市民のニーズを把握するとともに、当協議会の諸資源の積極的活用と専門的な相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	令和 5 年度		令和 4 年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生計	1	0	1	1
家族関係	1	1	3	0
健康・医療	3	2	2	1
財産	3	3	0	0
教育・青少年問題	0	0	0	0

障がい者福祉	5	1	1	1
高齢者福祉	14	9	5	3
児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	0	0	1	0
近隣問題	0	0	4	2
その他※	405	1	154	3
合 計	432	17	171	11

※特定の相談者からの電話相談を含む

イ 心配ごと相談の運営

民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、毎月第1木曜日（祝日を除く。）に各種の相談に応じた。

（単位：件）

相談事項	令和5年度		令和4年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生 計	0	0	0	0
家族関係	5	0	1	0
健康・医療	0	0	1	1
財 産	0	0	0	0
教育・青少年問題	0	0	0	0
障がい者福祉	1	0	1	1
高齢者福祉	2	0	0	0
児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	2	1	0	0
近隣問題	1	0	0	0
その他	1	0	1	0
合 計	12	1	4	2

（2）ふれあい・いきいきサロン推進事業

現在開設中の各サロンに民間助成金等に関する情報提供を行った。

（3）高齢者支援事業

ア 友愛電話訪問事業

（ア）電話訪問

ひとり暮らし高齢者の孤独感を解消することを目的に、訪問ボランティアの協力により、月曜日から金曜日（祝日を除く。）に電話による訪問を実施した。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
対 象 者	23 人 (男性 5 人・女性 18 人)	26 人 (男性 7 人・女性 19 人)
実施日数	243 日	243 日
電話訪問回数	713 回	768 回
ボランティア	12 人	13 人

(イ) 交流会

友愛電話の利用者とボランティアが親睦を深めるため、交流会を開催した。

実 施 日 11月13日
場 所 コミュニティセンター
参 加 者 友愛電話利用者 5 名 訪問ボランティア 10 名

(ウ) ボランティア研修会

友愛電話訪問のボランティアを対象に研修会を開催した。

実 施 日 2月8日
場 所 コミュニティセンター
内 容 「免疫力について」
ヤクルト健康教室 講師 藪 宇輝氏
参 加 者 8 名

イ 介護家族支援事業（家族介護教室）

介護の方法や介護されている方の健康づくりなどについて、専門家から学ぶ教室を生駒市図書館で開催した。

開催日	内 容	講 師	人数(人)
10月24日	介護の負担を軽減!!!さらに、 自宅で出来る元気になる運動	友絃会総合病院 技師長 徳久 謙太郎氏	7
11月14日	簡単にできる!!!飲み込みやす い おいしい食事	やすらぎの杜 延寿 管理栄養士 半田 恵美氏	10
11月21日	体験してみませんか? 認知症 の世界	認知症世界の歩き方公認 ファシリテーター 社協職員	12
11月28日	気持ちのいい排泄のために考 えてみよう 体験してみよう	排泄用具の情報館 むつき庵 副所長 熊井 利将氏	10
12月5日	介護者のストレス軽減 免疫力アップのアロマ紹介	Cielclair 代表 浦野 典子氏	11
合 計			50

ウ 訪問型サービス A 従事者研修

軽度の介護保険サービス利用者の自宅において掃除等身の回りの家事をお手伝いする従事者の養成を行う研修会を実施した。

研修内容

- ・ 介護保険制度と総合事業の概要と意義
- ・ 高齢者の特徴と介護予防
- ・ サービス提供の流れ
- ・ 生活支援の基本
- ・ 事例紹介
- ・ 事業所説明会（2事業所参加）

開催日	講師	参加者	修了証発行人数
7月3日、10日 (4時間研修×2日)	社協職員	21名	18名
2月17日 (8時間研修×1日)	社協職員	15名	15名

エ 緊急時あんしんカードの配布

ひとり暮らし高齢者が緊急時に、速やかに連絡等ができるよう、各自の情報(氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、かかりつけの病院等)を書き込んで、身近な所に常備できるカードを作成し、民生委員・児童委員を通じて配布した。

(4) 障がい者支援事業

障害者週間（12月3日～9日）キャンペーン事業

ア 「障害者週間」街頭啓発キャンペーン

障がいのある人とない人が共に支え合い、尊重し合う共生社会を推進するため、障がい者団体及び関係団体の協力を得て実施した。

実施日 12月5日
場 所 生駒駅、東生駒駅、南生駒駅、学研北生駒駅、白庭台駅
イオン登美ヶ丘店、業務スーパー南生駒店、近鉄百貨店
参加者 障がい者団体及び民生・児童委員連合会
啓発物 ポケットティッシュの配布、のぼり

イ 「障害者週間」講演会

障がい及び障がい者に対する理解を深めるとともに、障がい者の社会参加を促進するためのイベントを開催した。

開催日 12月9日
場 所 生駒市福祉センター
講 師 デフ（聴覚障がい者）マジシャン ミスターかわづ

演 題 サイレント マジックショー
 ～聴覚障がいへのこえ夢と感動を伝える～
 参加者 200人

ウ 「障害者週間」ポスター展

障がいについての理解と関心を高めることを目的に、市内の小・中学生からポスターを募集し、応募された作品を展示した。

場 所 生駒市役所 (11月16日～11月22日)
 生駒市福祉センター (11月25日～12月9日)
 参加校 俵口小学校、生駒台小学校、あすか野小学校、壱分小学校、
 生駒南第二小学校、大瀬中学校
 作品数 18点

(5) 福祉教育事業

ア 福祉出前講座

福祉教育推進の一環として、車いす・アイマスク・手話・点字の体験を行った。さらに、思いやりの気持ちを育むことを目的に、受講した小・中学校の児童・生徒に対し「思いやりサポーター認定証」と「あなたのやさしさを街角で」の冊子を配布した。

また、地域のつながりを広げるため「地域でつながる軽スポーツ(モルック)」の出前講座も行った。

開催日	対象団体	対象者	人数	内 容
5月2日	東松ヶ丘高齢者サロン	参加者	10人	地域でつながる軽スポーツ
5月2日	わくわく教室	参加者	30人	地域でつながる軽スポーツ
6月23日	生駒市身体障害者福祉会	会員	42人	地域でつながる軽スポーツ
6月27日	生駒南小学校	5年生	72人	車いす体験
7月4日	壱分小学校	5年生	124人	車いす体験
7月20日	音訳グループくさぶえ	会員	20人	地域でつながる軽スポーツ
7月20日	鹿ノ台佐保保育園	4・5歳児	32人	手話体験
7月27日	真弓小学校放課後子ども教室	全学年	30人	地域でつながる軽スポーツ
9月5日	生駒東小学校	4年生	91人	点字体験
9月6日	生駒東小学校	4年生	91人	手話体験
9月6日	生駒南小学校	4年生	64人	手話体験
9月12日	壱分小学校	5年生	124人	アイマスク体験
9月13日	生駒小学校	4年生	117人	車いす体験
9月14日	生駒東小学校	4年生	91人	車いす体験
9月26日	俵口小学校	4年生	73人	アイマスク体験
9月28日	俵口小学校	5年生	66人	点字体験

9月28日・29日	あすか野小学校	4年生	169人	手話体験
10月3日	鹿ノ台小学校	4年生	89人	点字体験
10月3日	俵口小学校	5年生	66人	手話体験
10月10日	鹿ノ台小学校	4年生	89人	車いす体験
10月10日	鹿ノ台小学校	4年生	89人	アイマスク体験
10月17日	生駒台小学校	4年生	124人	車いす体験
10月20日	新旭ヶ丘サロン	参加者	20人	地域でつながる軽スポーツ
10月25日	あすか野小学校	4年生	149人	車いす体験
10月26日	真弓小学校	4年生	128人	車いす体験
10月26日	上中学校	1年生	225人	手話体験
10月27日	真弓小学校	4年生	128人	アイマスク体験
10月27日	生駒南第二小学校	4年生	26人	手話体験
10月27日	鹿ノ台佐保保育園	4・5歳児	32人	手話体験
10月31日	大瀬中学校	1年生	151人	障がい者理解(講義)
11月2日	鹿ノ台小学校	4年生	89人	手話体験
11月7日	大瀬中学校	1年生	151人	車いす体験
11月10日	大瀬中学校	1年生	151人	アイマスク体験
11月10日	生駒南第二小学校	4年生	26人	点字体験
11月10日	小平尾保育園	3・4・5歳児	40人	手話体験
11月11日	西白庭自治会	住民	30人	地域でつながる軽スポーツ
11月14日	ひがし保育園	4・5歳児	40人	手話体験
11月16日	南喜里が丘サロン	参加者	20人	地域でつながる軽スポーツ
11月16日	壱分小学校放課後子ども教室	1～3年生	20人	地域でつながる軽スポーツ
11月21日	あすか野小学校	4年生	149人	点字体験
11月24日	生駒台小学校	4年生	124人	手話体験
12月6日	桜ヶ丘小学校	4年生	136人	点字体験
12月7日	生駒南小学校	3年生	53人	アイマスク体験
12月8日	ひがし保育園	3歳児	40人	手話体験
12月12日	壱分小学校	5年生	124人	手話体験
12月13日	生駒南中学校	1年生	47人	車いす体験
12月13日	生駒南中学校	1年生	47人	アイマスク体験
12月14日	生駒台幼稚園	年長組	48人	車いす体験
12月20日	中保育園	3・4・5歳児	159人	手話体験
1月19日	生駒南第二小学校	4年生	26人	車いす体験
1月19日	生駒南第二小学校	4年生	26人	アイマスク体験
1月23日	朝起会	参加者	30人	地域でつながる軽スポーツ
1月30日	桜ヶ丘小学校	5年生	109人	車いす体験
2月18日	ひまわりの集い	参加者	50人	地域でつながる軽スポーツ
2月20日	いきいき星和台	参加者	10人	地域でつながる軽スポーツ
2月27日	生駒北小学校	4年生	17人	点字体験
2月29日	壱分幼稚園	年中組	34人	車いす体験
3月1日	上中学校	2年生	234人	手話体験
3月2日	壱分小学校学童保育	全学年	60人	地域でつながる軽スポーツ

3月27日	小瀬の里フレンドクラブ	参加者	15人	地域でつながる軽スポーツ
3月29日	いきいき百歳体操元 気会	参加者	12人	地域でつながる軽スポーツ
合 計	61回		4, 679人	

イ ミニ出前講座

住民の福祉に対する理解や関心を高めるため、災害支援や介護予防など短時間の講座をおこなった。

開催日	対象団体	人数	内 容
6月30日	天理教奈良教区生駒支部	25人	災害時持ち出し品ゲーム
7月6日	生駒南小学校5年生	72人	災害時持ち出し品ゲーム
8月1日	東松ケ丘ふれあいサロン	12人	災害時持ち出し品ゲーム
10月17日	ボランティアネットワーク	25人	災害時持ち出し品ゲーム
2月1日	壱分小学校5年生	122人	災害時持ち出し品ゲーム
2月18日	有里町自治会	20人	災害時持ち出し品ゲーム
2月27日	手話サークルハーブ	25人	災害時持ち出し品ゲーム
2月27日	ボランティアネットワーク	18人	介護すごろく
3月7日	東松ケ丘ふれあいサロン	10人	成年後見制度について
合 計	8回	304人	

ウ 相談援助実習及び介護等体験実習生の受入れ

社会福祉教育の一環として、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）に規定する社会福祉士等資格取得に必要な実習等の学生を受け入れた。

- ・ ソーシャルワーク実習 2人

(6) ひとり親家庭支援事業

ひとり親家庭や生活に困窮する子育て世帯を中心とした親子に交流の場を提供するとともに、必要な生活相談ができるよう相談機関等の周知・啓発する機会として開催した。

実施日	10月28日
場 所	吹田市
内 容	「感性にふれる」をコンセプトにした生きているミュージアム 「ニフレル」とエキスポシティを親子で楽しむ
参加者	17名

(7) 車いすの一時貸出し

高齢者、身体障がい者等の外出援助のため、無料で車いすの貸出しを行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
車いす	89 台 (福祉センター29 台)	86 台 (福祉センター36 台)

(8) 善意銀行の運営

市民の皆様から善意の預託を受け、預託者の意思に従ってその指定先に払い出した。

預 託		払 出		払 出 先
件数	金 額	件数	金 額	
20 件	208,837 円	16 件	93,609 円	愛染寮、こども食堂
2 件	物品			

(9) 当事者組織の支援

身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会等の当事者の会と連携の強化及び連絡調整を図るとともに、福祉活動の強化に努めた。

(10) 社会福祉関係団体との連携強化

民生・児童委員連合会、老人クラブ連合会、保護司会、更生保護女性会をはじめ、身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児・者父母の会、聴覚障害者協会、難聴者福祉協会、遺族会、介護者（家族）の会等と連携体制の強化に努めた。

- ア 生駒市民生・児童委員連合会事務局の運営
- イ 生駒市老人クラブ連合会事務局の運営
- ウ 生駒市居宅介護支援事業者協会事務局の運営
- エ 生駒市保護司会事務局の運営
- オ 生駒市地区更生保護女性会事務局の運営

(11) 生活困窮者緊急支援事業

生活困窮者自立相談支援事業を利用するもののうち、緊急に支援が必要と認めるものに対して、緊急物品等を支給するとともに、生活困窮者に相談支援を行った。

食料支給、相談支援 10 世帯

(12) 気になる会議の開催

制度の狭間や支援につながない「気になる方」「心配な方」について

民生委員・児童委員や関係機関等を交えて意見交換会を開催した。

開催日 8月28日(月)
場 所 コミュニティセンター
内 容 コミュニティーコーピング体験会
参加者 11人

開催日 12月20日(水)
場 所 コミュニティセンター
内 容 ごっちゃ☆ばあ見学会、意見交換
参加者 9人

(13) 食を通じた支援事業

経済的に困窮している子育て世帯に対して、企業からの寄付等による食料品の提供(フードパントリー)を行った。あわせて、市民から「こども文具ポスト」に寄付された不要学用品の無料提供を行った。

実施回数 38回
世帯数 298世帯(のべ)

(14) 地域活動の支援拠点モデル作り

みんなの居場所「ごっちゃ☆ばあ」を開設し、既存の就労や福祉サービスにつながらない等、制度の狭間にいる方の居場所や支援拠点のモデルとなる事業を推進した。

(15) つながりワーカー養成講座

孤立に気づき、つながり、見守る人材を地域に増やしていくための講座を行った。

開催日 7月26日(水)、12月5日(水)
場 所 コミュニティセンター
内 容 地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材の養成
参加者 7月26日 18名
12月5日 18名

(16) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

3 権利擁護支援活動の推進

(1) 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)

判断能力が十分でない高齢者や障がい者の生活に関わる相談に応じ、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談援助件数	714 件 (内新規相談 13 件)	814 件 (内新規相談 23 件)
契約者数	24 人 (内新規契約者 5 人)	30 人 (内新規契約者 0 人)
生活支援員活動件数	349 件	427 件
生活支援員活動時間	321 時間 00 分	395 時間 00 分

ア 生活支援員交流会の開催

実施日 3月2日
 場 所 生駒市福祉センター
 内 容 ・R6年度の事業について（出前講座、法人後見支援員）
 ・出前講座に向けた意見交換
 参加者 10人

(2) 権利擁護支援センターの運営及び権利擁護支援の推進

知的障がい、精神障がい、認知症により判断能力が十分でない者等に対し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的に、権利侵害及び権利行使に関する相談から支援まで総合的に行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
成年後見制度利用 支援件数	28 件	27 件
上記のうち 申立に至った件数	(9 件)	(11 件)
日常生活自立支援 事業からの移行	(2 件)	(4 件)

ア 法人後見事業の実施

適切な成年後見人がいない方に対し生駒市社会福祉協議会が成年後見人に就任し必要な支援を行った。

受任件数 1件

イ 専門相談窓口の設置

(ア) 生駒市権利擁護支援センター相談業務

専門相談員（社会福祉士）を配置し、必要な相談支援を行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
電話相談 (メール、ファクス含む)	832 件	470 件
面談	86 件	57 件
訪問	224 件	90 件
合 計	1142 件	617 件

(イ) 成年後見制度無料相談会

リーガルサポート奈良支部会員の司法書士と権利擁護支援センターの職員（社会福祉士）による成年後見制度に関する相談会（毎月第3木曜日、予約制）を行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談件数	18 件	31 件

(ウ) 高齢者及び障がい者のための無料法律相談

弁護士による、高齢者及び障がい者のための無料法律相談（毎月第2・4木曜日、予約制）を行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談件数	39 件	33 件

(エ) 福祉関係機関向け専門相談

権利擁護支援センターの職員が相談を受け、弁護士への相談を行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談件数	20 件	11 件

ウ 実務者連絡会の開催

実施日 令和6年2月29日
 場 所 生駒市福祉センター
 内 容 「第二期成年後見制度利用促進基本計画について」
 講 師 一般社団法人 社会福祉士事務所 Bright 代表理事 西谷 裕輝氏
 参加者 13人

エ 権利擁護支援セミナーの開催

実施日 令和6年3月23日
 場 所 コミュニティセンター
 内 容 「終活について考えてみませんか？」

講 師 公益社団法人 コスモス成年後見サポートセンター
 奈良県支部 行政書士 木村 友紀氏 木原 真俊氏
 参 加 者 50人

オ 権利擁護サポーター養成講座（全3回）

開催日	内 容	講 師	人数(人)
9月2日	「権利擁護支援について」	奈良県社会福祉協議会 専門相談員 石井 日出弘氏	13
	「発達障害の理解について」	奈良県発達障害者支援センター 「でいあー」職員 菅原 史登氏	
9月9日	「認知症の理解」	生駒市社会福祉協議会 地域包括支援センター 職員	13
	「成年後見制度と後見活動について」	奈良総合法律事務所 弁護士 佐々木 育子氏	
9月16日	「市民後見人について」	奈良市社会福祉協議会 職員 奈良市市民後見人 青山 雄一氏	13
	「日常生活自立支援事業について」	生駒市社会福祉協議会 権利擁護支援センター 職員	

(3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

4 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア活動保険の加入促進

受付区分	令和5年度	令和4年度
ボランティア活動保険	2,550人	2,569人
ボランティア行事保険	148件	138件
保険請求件数	8件	8件

(2) ボランティア活動普及事業協力校への支援

小・中学校及び高等学校の児童や生徒、学生を対象に、社会福祉に対する理解と関心を深めることを目的として、学校に対して助成を行った。

助成校 生駒小学校、生駒東小学校、壱分小学校、生駒南第二小学校、鹿ノ台小学校、生駒真弓小学校、大瀬中学校、鹿ノ台中学校、光明中学校、生駒高等学校

(3) 生駒市内のボランティア団体との連携

ア 生駒市社会福祉協議会ボランティアネットワークへの情報提供

民間助成金等の情報を11回配信した。

イ ボランティアネットワーク情報交換会の開催

実施日 7月24日

場 所 コミュニティセンター

内 容 ・社協の活動紹介（ミニ出前講座、新パンフレット）
・今年度の活動計画
・手話体験

参 加 8グループ14名

実施日 10月17日

場 所 市民活動推進センターららぼーと

内 容 ・社協のミニ出前講座（持ち出し品ゲーム）
・災害時に備えた調理実習

参 加 10グループ21名

実施日 2月27日

場 所 コミュニセンター

内 容 ・介護保険に関する勉強（社協のミニ出前講座／講義／寸劇）
・手話体験

参 加 8グループ18名

(4) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

5 生活福祉資金等を活用した自立支援

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、奈良県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業を活用した資金の貸付けと必要な援助指導等により、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加を促進した。

(1) 低所得者世帯等への支援活動

ア 生活福祉資金の貸付相談

民生委員・児童委員の協力を得て、低所得者、高齢者及び障がい者の世帯に生活福祉

資金の貸付けを行い、経済的な自立と生活意欲の促進に努めた。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談件数	118 件	207 件

イ 貸付件数

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
福祉資金				
・福祉費	0	0	1	500,000
・緊急小口資金	7	671,000	3	300,000
教育支援資金				
・教育支援費	6	3,978,000	5	1,845,000
・就学支度費	4	640,000	3	364,000
総合支援資金				
・生活支援費	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型生活資金				
・要保護世帯向け	0	0	0	0
合 計	17	5,289,000	12	3,009,000

(2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

6 災害時に向けた取組み

(1) 災害支援に関する学習・啓発活動

ア 災害時における連携・協働のあり方などについて考えることを目的とした災害ボランティア養成講座を開催した。

実施日 11月2日
 場 所 セイセイビル
 内 容 ・防災すごろくで楽しく学ぶ
 ・講義 奈良県総合ボランティアセンター
 ・災害ボランティア登録
 参加者 13名

新規ボランティア登録 5名（累計22名）

イ 災害ボランティアセンター設置訓練を行った。

実施日	11月12日
場所	福祉センター
内容	ICTを導入した訓練 炊き出し想定による参加者の親睦会
参加者	31名（ボランティア、社協職員、奈良県社協職員、平群町社協職員、上牧町社協職員、健推協）

ウ 夏休み子ども福祉体験スクール

実施日	8月2日
場所	福祉センター
内容	・社協のミニ出前講座（防災すごろく・持ち出し品ゲーム） ・奈良の郷土料理を用いた非常食の調理、試食
参加者	11名

（2）苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

7 生活困窮者自立相談支援事業の実施

（1）生駒市くらしとしごと支援センターの運営

経済的な問題のみならず、複合的な問題を抱えている生活困窮者に対して、生駒市くらしとしごと支援センターにおいて個別に対応し、困窮状態から早期に脱却することを支援する生活困窮者自立相談支援事業を推進した。

ア 自立相談支援事業

生活困窮者個々に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援体制を構築するために相談員を配置し総合的な支援を行った。

区分	令和5年度	令和4年度
支援件数合計	680件	1,078件
電話相談	(247件)	(151件)
訪問同行支援	(85件)	(120件)
面談支援	(348件)	(807件)
新規相談件数	(183件)	(140件)

（ア） 支援調整会議

生活困窮者の複合的な課題を整理し、課題解決のための支援プランについて関係機関と合同でケースの検討及び支援の決定を行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
開催数	12 回	12 回
検討ケース	14 件	20 件
プラン作成件数	42 件	38 件
評価	42 件	35 件

(イ) 就労支援

生活困窮者に対する就労支援を行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
支援対象者件数	42 件	46 件
就労開始件数	(34 件)	(20 件)
就労増収件数	(2 件)	(6 件)

(ウ) サロンの開催

生活困窮者の居場所作りと、自己理解を深めるプログラムを実施し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数	計 12 回
場 所	ごっちゃ☆ばあ
内 容	個人で取組みが出来る箱庭、カード等を使ったワークや、コミュニケーションを取りながら課題を完成させるワークなどを取り入れ、個人の特性等の理解を深め、他者との関係性の構築のためのきっかけ作りとした。
講 師	Co-en 濱口 桂氏
参加者	31 人 (延べ)

イ 住居確保給付金の相談

離職により生活に困って、住居を失った人、又は住居を失う恐れの高い人に対し、期限付きで家賃相当額を支給する間に安定した就職活動ができるように支援をおこなった。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談支援件数	72 件	126 件
申請件数	(11 件)	(16 件)

ウ 家計改善支援事業

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らか

にして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や、専門的な助言・指導等を行った。

(ア) 家計改善支援事業

生活困窮者からの相談に応じ、家計の問題を明らかにして生活の再生に向けたプランを作成し、家計を管理する力を高め、早期に家計が再生するための支援を行なった。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談支援件数	721 件	305 件

(イ) 無料家計相談会

奈良県司法書士会の司法書士と社協職員による家計再建等に関する相談会（毎月第2水曜日、予約制）を行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談件数	19 件	8 件

エ 就労準備支援事業サポート業務

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなど、複合的な課題があり既存の雇用施策の枠組みでは支援になじまない方に、一般就労に従事する準備としての基礎能力形成を計画的にサポートを行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
支援対象者件数	6 人	3 人
支援プログラムの実施	0 回	14 回
職場見学	0 回	0 回

(2) 困窮予防プログラムの実施

ア 「はじめの一步」カウンセリング

生活改善にむけた行動変容を促すべく、公認心理師による個別カウンセリングを実施した。

実施日 6月9日

参加者 3名

イ ファイナンシャルプランナーによる家計相談

物価高騰等による家計悪化を予防すべく、ファイナンシャルプランナーによる個別相談会を実施した。

実施日 7月28日

参加者 3名

ウ 公認心理師から学ぶかんたんリラクゼーション
メンタルダウンによる生活困窮を予防するべく、公認心理師による「セルフケアセミナー」を実施した。

実施日 10月6日

参加者 13名

エ ファイナンシャルプランナーによる家計セミナー
中長期的な家計管理を学ぶことで生活困窮を予防するべく、ファイナンシャルプランナーによる「人生予算セミナー」を実施した。

実施日 1月15日

参加者 7名

(6) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

8 福祉センターの円滑な管理及び運営

(1) 福祉センターの指定管理事業

社会福祉事業の推進、社会福祉活動の育成と市民のふれあいを図る活動拠点として、円滑な管理運営に努めた。

また、各種教室、軽スポーツ等を通して、障がい者の自立、生活意欲の向上及び生きがいづくりに努めた。

(単位:人)

利用区分	令和5年度	令和4年度
福祉団体	3,830	3,007
ボランティア団体	4,796	4,002
各種教室	5,116	3,684
市関係	964	582
手話関係	96	133
行事	1,922	1,611
地域交流サロン	369	377
合計	17,093	13,396

ア 福祉センターの管理及び運営

(ア) 各種教室

自宅に閉じこもりがちな障がい者や高齢者(60歳以上)の自立及び生きがい作り

や交流活動の場として、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じたうえで各種教室を開講した。

教室名	令和5年度		令和4年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
やきもの教室 A	15	133	16	150
やきもの教室 B	15	132	16	209
水彩画教室	19	290	18	153
さをり織り教室	20	127	18	126
料理教室	5	60	6	40
中国気功教室	20	498	18	300
たいそう教室	20	127	18	139
カラオケ教室 A	20	300	14	173
カラオケ教室 B	20	277	16	218
編み物教室	20	292	21	283
絵てがみ教室	20	275	20	140
手作りパン教室	8	84	6	43
園芸教室	20	268	19	291
健康ヨガ教室	20	486	18	288
健康太極拳教室	19	520	21	373
フラダンス教室	20	456	19	344
パッチワーク教室	19	289	21	187
合計	300	4,614	285	3,457

短期教室名	令和5年度		令和4年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
アロマキャンドル教室	1	12	1	13
しめ縄アレンジメント教室	1	12	1	10
ストレッチ教室	10	275	12	174
七宝焼き教室	3	25	3	30
お菓子教室	1	16		
男性料理教室	2	15		
健康リズム体操教室	6	88		
手作りうどん教室	1	12		
己書教室	4	47		
合計	29	502	17	227

(イ) 福祉センター祭

各種教室で学んだ成果を展示・発表する場として福祉センター祭を開催した。また、オープニングセレモニーとして童笑さんの和太鼓演奏や、福祉団体及び障がい者団体、ボランティア団体の協力により福祉体験（手話・点字）やバザー、模擬店（カレーライス・ベビーカステラ・炊込みご飯・豚汁など）の販売も行った。

開催日 3月9日
来場者数 約200人

(ウ) 各種行事

障がい者(児)とその家族、高齢者(60歳以上)を対象に、各種行事を実施した。

① 秋の日帰りバス旅行

障がい者(児)とその家族等を対象にバス旅行を実施した。

実施日 9月10日
場 所 神戸どうぶつ王国(神戸市)
参加者 75人

② レクリエーションゲーム会

障がい者(児)とその家族を対象にレクリエーションを実施した。

実施日 1月21日
場 所 生駒市福祉センター
参加者 51人

③ 障がい者及び高齢者向けのスポーツ体験会

軽スポーツを通じて、障がい者や高齢者への理解を深めるため体験会を開催した。

モルック体験会	6月29日	27人
ボッチャ体験会	11月15日	18人
モルック多世代交流会	3月2日	30人

(カ) ボランティア講習会

登録ボランティアに対し、障がい者及び高齢者理解を深めるため講習を実施した。

実施日 6月15日
場 所 生駒市福祉センター
内 容 「健康第一で日々を楽しく過ごすために～」
講 師 meiji(株式会社 明治)
参加者 14人

実施日 10月18日
場 所 生駒市福祉センター
内 容 モルックを通じたボランティア同士の交流
講 師 福祉センター職員
参加者 12人

イ 意思疎通支援事業

(ア) 手話通訳者等設置

専任の手話通訳者を設置し、手話通訳者派遣のコーディネートを行うとともに、聴覚障がい者等の日常生活における様々な相談に応じた。

(イ) 手話通訳者派遣

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者を派遣した。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
派遣件数	194 件	243 件
派遣人数	239 人	303 人

(ウ) 要約筆記者派遣

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、要約筆記者を派遣した。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
派遣件数	47 件	48 件
派遣人数	118 人	117 人

ウ 社会参加支援事業

(ア) 点字及び声の広報の発行

視覚障がい者の社会参加・自立の一助として、「点字広報いこま いこまち」及び「声の広報いこま いこまち」、「あゆみ（音訳）」を発行した。

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	回数(回)	利用人数(人)	回数(回)	利用人数(人)
点字広報	12	36	12	36
声の広報	12	176	13	189
あゆみ（音訳）	1	14		

(イ) 各種講座

聴覚障がい者や視覚障がい者の社会参加におけるコミュニケーションを助ける技術を学ぶ講座を開催した。

講座名	令和5年度		令和4年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
手話奉仕員養成講座	44	941	44	494
聞こえのサポーター講座	6	48	0	0
点訳講習会	10	60	10	68
音訳講習会	6	32	6	85
合計	66	1081	60	647

(2) 福祉センター自主事業

ア 点字図書の貸出し

芥川賞・直木賞受賞作品の点字図書を配置し、視覚障がい者等に貸し出す環境を提供した。

区分	令和5年度	令和4年度
利用件数	0件	0件
貸出数	0冊	0冊

イ 手話奉仕員スキルアップ研修

対象者 手話奉仕員養成講座を受講修了した手話サークル会員
 実施回数 0回
 参加者 0人

ウ はじめての手話講座

対象者 手話奉仕員養成講座（入門編）申込者で抽選の結果落選したもの
 実施回数 5回
 参加者 26人

エ 聴覚障がい者サロン（ふく mimi サロン）の運営支援

市内の聴覚障がい者の社会参加と仲間づくりの輪を広げ、いきいきと安心して暮らせることを目的に開催し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数 計12回
 場所 生駒市福祉センター
 内容 ボランティアのサポートを受け、お花見、クッキング、ゲーム（クイズやモルック）などを行った。
 参加者 168人（延べ）

オ Wi-Fi の整備

聴覚障がい者等の施設利用環境向上のために貸出し用 Wi-Fi を整備した。

(3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

9 地域包括支援センターの運営及び包括的支援事業の推進

高齢者の地域生活の支援のため、地域ネットワークづくりを推進するとともに、各種支援サービスを提供した。

(1) 地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送るために、介護サービスを始め様々なサービスを包括的に受けられるよう、関係機関との調整等、高齢者を支える総合機関としての運営を行った。

ア 介護予防ケアマネジメント事業

総合事業対象者、要支援認定者に対し介護予防支援計画を作成した。

(単位:件)

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
総合事業対象者	16	25
要支援 1	115	117
要支援 2	209	164
合 計	340	306

イ 総合的な相談支援事業

介護保険等様々な制度や地域資源との連携による相談及び支援を実施した。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
相談件数	1360 件	1,413 件

ウ 包括的かつ継続的ケアマネジメント事業

(ア) 介護支援専門員への助言・指導

包括的かつ継続的なケアマネジメントが行えるよう、地域のケアマネジャーに対し支援を行った。

	令和 5 年度	令和 4 年度
集団支援		

実施回数	21回	13回
参加者	346人	232人
個別支援		
相談・支援	16件	28件

(イ) 地域支援体制整備

地域のネットワークづくりのため、関係機関と連携を図った。

区 分	令和5年度	令和4年度
連携件数	99件	90件
地域ケア会議	43回	40回

(2) 介護予防事業

ア 指定介護予防支援

要支援認定者に対し介護予防サービス計画を作成した。

(単位:件)

区 分	令和5年度	令和4年度
要支援1	168	203
要支援2	226	242
合 計	394	445

イ 高齢者介護予防事業(介護予防教室)

高齢者やその家族を対象に介護予防に関する知識及び技術の普及啓発を目的に、介護予防教室を実施した。

開催日	開催場所	人数(人)	内 容
6月17日	デイサービスセンター 幸楽	5	・認知症サポーター養成講座
6月28日	デイサービスセンター 幸楽	9	・ひまわりの集い(地域出前型 生駒市健康づくり推進員連絡協議会) ・介護予防手帳を参考に脱水や栄養について
8月18日	西松ヶ丘集会所	13	・ひまわりの集い(地域出前型 生駒市健康づくり推進員連絡協議会) ・介護予防手帳を参考に脱水や栄養について
8月25日	光陽台集会所	26	・地域包括支援センターについての説明

9月14日	北新町自治会館	31	・介護保険についての説明
10月18日	デイサービスセンター 幸楽	9	・認知症サポーター養成講座 ・折り紙のレクリエーション
合計		93	

ウ 生活機能評価未返送者実態把握事業

市が郵送した「基本チェックリスト」の未返送者の実態等を把握するため、調査を行った。

区 分	令和5年度	令和4年度
訪問支援件数	45件	21件

(3) 認知症地域支援推進員の配置

ア 認知症の人及び家族の支援として相談業務を行った。

区 分	令和5年度	令和4年度
相談件数	330件	593件

イ 認知症サポーター養成講座等を開催した。

区 分	令和5年度	令和4年度
回数	6回	8回
人数	189人	305人

(4) 第2層生活支援コーディネーターの配置

担当地域において、地域の集いの場への訪問や介護予防教室の実施・関係機関との連携を図り、現状把握やネットワーク構築、通いの場の創設に取り組んだ。

(5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

10 デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営

利用者の多様化、複雑化する高齢者の介護及び予防並びに障がい者の生活ニーズに対応するとともに、自立支援に向けたサービス提供に努めた。

(1) 介護保険事業の運営

ア 要介護認定調査事業

市から介護保険認定調査事業を受託し、各地域において認定調査を行った。

(単位:件)

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
市 内	62	40
他 市	2	0

イ 居宅介護支援事業 (ケアプランの作成)

要介護認定者に対し、居宅サービス計画 (ケアプラン) を作成した。

(単位:件)

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
要介護 1	560	519
要介護 2	428	436
要介護 3	177	146
要介護 4	91	121
要介護 5	12	35
合 計	1,268	1,257

ウ 訪問介護事業

要介護認定者に対し訪問介護員を派遣し、生活援助及び身体介護を行った。

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	222	1,096	185	1075
要介護 2	103	610	122	734
要介護 3	59	502	31	321
要介護 4	32	256	34	220
要介護 5	11	41	23	120
合 計	427	2,505	395	2,470

エ 通所介護事業

要介護認定者を対象に、送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)

要介護 1	235	1,650	199	1,501
要介護 2	174	1,745	166	1,488
要介護 3	101	1,048	95	1,041
要介護 4	66	556	66	422
要介護 5	5	61	17	92
合 計	581	5,060	543	4,544

オ 介護予防訪問介護相当サービス・訪問型サービス A

総合事業対象者、要支援認定者に対し訪問介護員または生活支援員を派遣し、身体介護や生活援助を行った。

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
介護予防訪問介護相当サービス				
総合事業対象者	21	90	34	142
要支援 1	79	313	108	428
要支援 2	264	1,309	179	1,056
合 計	364	1,712	321	1,626
訪問型サービス A				
総合事業対象者	3	11	0	0
要支援 1	15	64	0	0
要支援 2	72	286	57	223
合 計	90	361	57	223

カ 介護予防通所介護相当サービス・通所型サービス A

総合事業対象者、要支援認定者を対象に、送迎、食事、入浴やマシンを使った運動プログラム等の通所サービスを行った。

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
介護予防通所介護相当サービス				
総合事業対象者	8	27	2	9
要支援 1	8	26	16	57
要支援 2	57	431	86	572
合 計	73	484	104	638
通所型サービス A				
総合事業対象者	46	171	86	289

要支援 1	29	109	26	95
要支援 2	33	124	22	73
合 計	108	404	134	457

キ パワーアップPLUS教室

専門職の指導によるマシンを使った運動や自宅で行う運動の個別指導を行い、短期間で元気な生活を取り戻すための教室を実施した。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
参加延べ人数	1,237 人	1,101 人
教室開催回数	192 回	185 回

(2) 障害福祉サービス事業の実施

ア 居宅介護（ホームヘルプ）・重度訪問介護

ホームヘルパーを派遣し、介護、家事等生活全般にわたる援助を行った。

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
居宅介護	48	369	48	343
重度訪問介護	0	0	0	0

イ 移動支援・同行援護・行動援護事業

障がい者が円滑に外出できるよう、移動支援、同行援護及び行動援護を行った。

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
同行援護事業	33	284	33	275
行動援護事業	5	6	4	5
移動支援事業	0	0	0	0

ウ 生活介護（デイサービス）

障がい者に送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
利用人数	42 人	36 人
回 数	208 回	215 回

(3) デイサービスセンター幸楽自主事業

ア はいせつ無料相談（ミニむつき庵いこま）

排泄に関する問題を抱えながら、適切な指導や助言を得られない方、また問題の存在に気付かないまま過ごしている方に対し、面談や電話等での相談の対応を行った。

イ 要介護者及び家族交流事業（salon de kouraku）

普段介護を行っている家族、社会的交流や役割などの獲得が必要な要支援者等に対して、情報交換やリフレッシュができる場を提供していたが、昨年度に続き実施を見合わせた。

(4) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

1 1 交通遺児奨学金の支給

交通災害により親等を失った高校生に交通遺児奨学金の支給を行う。

交通遺児奨学金支給者 0人